

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)モントレー東比恵 新築工事	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市博多区東比恵3丁目3	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	300 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2017年5月25日
敷地面積	1,240 m <sup>2</sup>	作成者	松本拓也
建築面積	677 m <sup>2</sup>	確認日	2017年5月26日
延床面積	5,630 m <sup>2</sup>	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.3</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 3.0</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.7</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.0</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.1</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.4</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 4.0</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 2.9</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物のエネルギー性能に配慮し、地球温暖化防止、大気汚染防止に努めている。</li> </ul>	<p><b>その他</b></p> <p>0</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い遮音性能を確保している。・外皮性能への配慮。・F☆☆☆☆を採用し、空気質環境への配慮を行う。・自然換気性能の確保に努めている。</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の維持管理に配慮している。・耐用年数の長い、部品部材の採用に努めている。・高い階高を確保し、空間のゆとりを配慮している。</li> </ul>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地、中高木を設けている。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高性能断熱材の採用等、建物の熱負荷抑制に配慮している。・LED照明等の高効率設備機器を採用し、設備システムの高効率化に努めている。</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防水工事にプライマー採用等、化学物質の使用削減に努めている。</li> </ul>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物のエネルギー性能に配慮し、CO<sub>2</sub>排出量を減らす等、地球温暖化防止に努めている。・エコジョーズの採用等、大気汚染防止に努めている。</li> </ul>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される